

# 公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236(中央区健康福祉課)

年度	平成27年度		
施設名	新潟市子育てサポート広場ふるまち	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	子育てを行う市民の交流及び集いの場として、また、育児不安等についての相談及び指導並びに子育てについての情報の提供を行うとともに、一時的又は、緊急的な保育ニーズに対応し、もって市民の子育てを支援する目的として設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H27.5.16
歳入	2,769	再任用	3	修正日	—
歳出	41,326	非常勤	1	評価日	H28.5.16

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	より多くの家庭に利用してもらい、子育ての負担を軽減し、家庭を支援していきます。	利用者数	44,980人	43,047人	36,665人	40,000人	39,780		広場無料開放 短時間保育	PRの効果が順調だったが、ラフォーレ原宿新潟の閉店に伴い減少になった。	C
2	市民	より一層の利用を促すためホームページやパンフレットで情報提供をしていきます。	広報	年12回	年30回	年30回	年30回	年42回		毎月のひろば日より新潟市ホームページ市報にいがた 情報誌掲載	通常のPRだけでなくTVでも2回実施する。昨年同様、保健師研修や保育園園長会でもPRした。	A
3	市民	要望や苦情には、速やかに対応します。	勤務日5日以内に回答	随時	随時	随時	随時	随時		アンケート実施	常時設置のアンケートは、年間23件。苦情については、即対応し、可能な要望については、すぐに取り組んだ。	A
4	財務	管理経費の削減を図った上、配当予算を有効に執行します。	利用者1人当たり950円以下にする	1人当り847円	1人当り904円	1人当り1,122円	1人当り1,100円	1人当り1,039円		集客数の増員	利用者総数は達成できなかったが一人当たりの単価は達成できた。	A
5	業務	災害、事故発生時の対応を強化します。	訓練等の実施	年4回	年4回	年4回	年4回	年5回		避難訓練(2回) 防災訓練(2回) 不審者対応訓練(1回)	NEXT21全体の防災訓練に参加した。また、ひろば独自の避難訓練、不審者対応訓練も実施した。	A
6	業務	乳幼児を対象としたいろいろなイベントを計画し、楽しく子育てできる環境を提供していきます。	実施回数 参加人数	140回 4,980人	124回 4,792人	160回 4,730人	150回 4,500人	466回 7,068人		育児講座・絵本の読み聞かせ 日曜日のお楽しみ スタッフと一緒にミニイベント お昼の体操タイム	お昼の体操タイムを毎日行い、実施回数も参加人数も大幅に増えた。	A
7	人材	内部研修、外部研修に積極的に参加します。	年間研修回数：1回以上	外部1人1回 内部12回	外部1人1回 内部15回	外部1人1回 内部16回	外部1人1回 内部16回	外部1人1回 内部16回		保育研修への参加、内部研修で資質向上	研修に参加し、各自の自己目標を作成し資質向上につなげた。	A

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>“子育て応援ひろば”としての市民に対する認知度も高まり、市民はもとより市外、県外の利用者からも喜ばれ、利用者数が増えています。</p> <p>下記の4点を目標とし、利用者には喜ばれるひろば作りに取り組みます。</p> <p>①イベント内容の工夫や回数を増やす。 ②利用者アンケートの実施を継続し、改善できることから実施していく。 ③ひろばの安全管理をする。 ④職員の資質向上などを心がける。</p>	<p>目標として下記の4点をあげ、取り組みました。</p> <p>①イベント内容の工夫や回数を増やす。 ②利用者アンケートの実施を継続し、改善できることから実施していく。 ③ひろばの安全管理をする。 ④職員の資質向上などを心がける。</p> <p>今年度よりお昼の体操タイムを実施し、イベント回数も参加者も大幅に増えました。利用者には喜ばれるとともに、一度片づけタイムを設けたことにより、玩具などの整理整頓に役立ってきました。</p> <p>また、アンケートの要望に答える事にもなりました。</p> <p>次年度も利用者には喜ばれる広場作りをしていきます。</p>